



2018年3月期 第2四半期 決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2017年11月9日

本日の発表のポイント

1. 2018年3月期 第2四半期 連結決算実績:

- 当四半期および上期ともに、前年同期比では、売上は減収となったが、営業利益は増益となった
- 前回計画比では、売上は若干の未達となったが、営業利益は計画をクリア
- 当期純損益は、為替差損の計上や事業構造改善費用の一部を下期から前倒し計上したことにより、前年同期および前回計画を下回った

2. 2018年3月期 連結業績予想:

- 通期の業績予想は据え置き

3. トピックス:

- MEMSミラーを用いた3D-LiDARサンプル供給を開始
- HERE Technologiesとの業務・資本提携

本日の説明

1. 2018年3月期 第2四半期連結決算
2. 2018年3月期 連結業績予想
3. トピックス

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2018年3月期 第2四半期連結決算

2018年3月期 第2四半期・上期：連結業績概要

(単位:億円)

	第2四半期			上期		
	前年同期	当四半期	前年同期比	前年同期	当期	前年同期比
売上高	951	929	97.7%	1,904	1,762	92.5%
営業利益	11	23	201.1%	15	20	135.2%
経常損益	8	9	108.1%	28	-4	-
当期純損益*	-3	-6	-	10	-26	-

1株当たり純損益*	-0.83円	-1.67円	-0.84円	2.63円	-7.21円	-9.84円
ROE	-1.6%	-3.0%	-1.4%	2.4%	-6.4%	-8.8%
1株当たり純資産	210.11円	226.18円	+16.07円			
ROA	-0.4%	-0.9%	-0.5%	0.7%	-1.9%	-2.6%

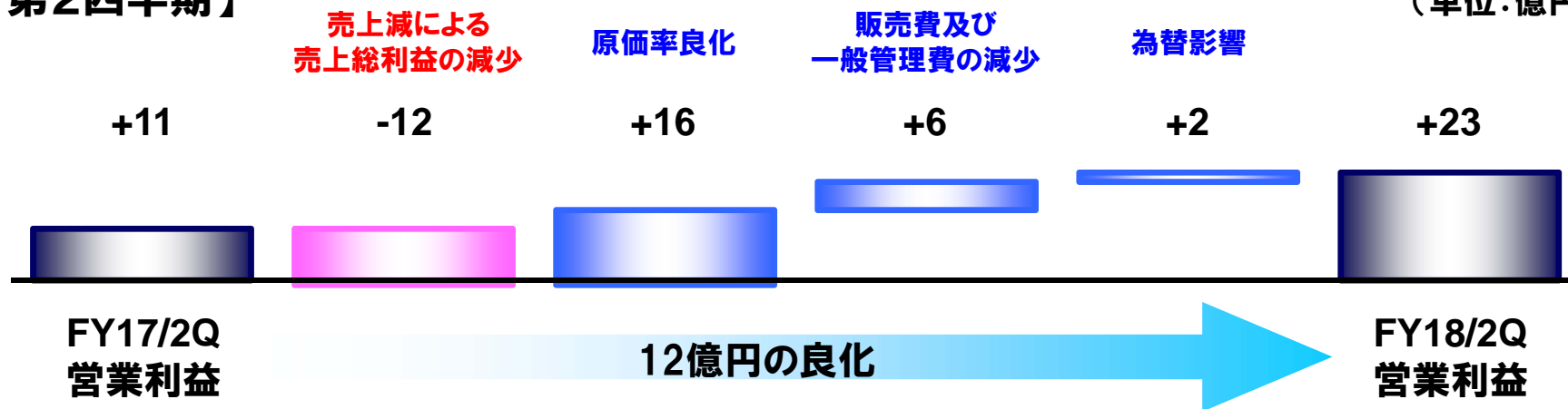
* 親会社株主に帰属する当期純損益

為替 平均レート	1米ドル	102.43円	111.03円	+7.7%	105.29円	111.06円	+5.2%
	1ユーロ	114.28円	130.38円	+12.3%	118.15円	126.29円	+6.4%

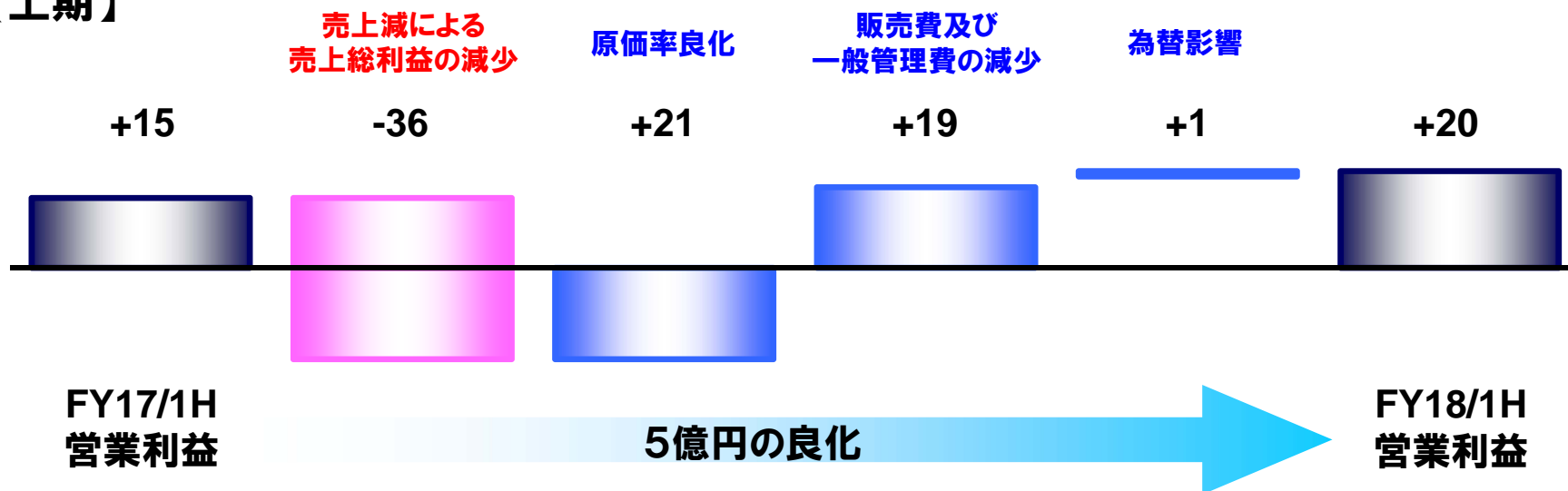
2018年3月期 第2四半期・上期： 営業利益増減要因

【第2四半期】

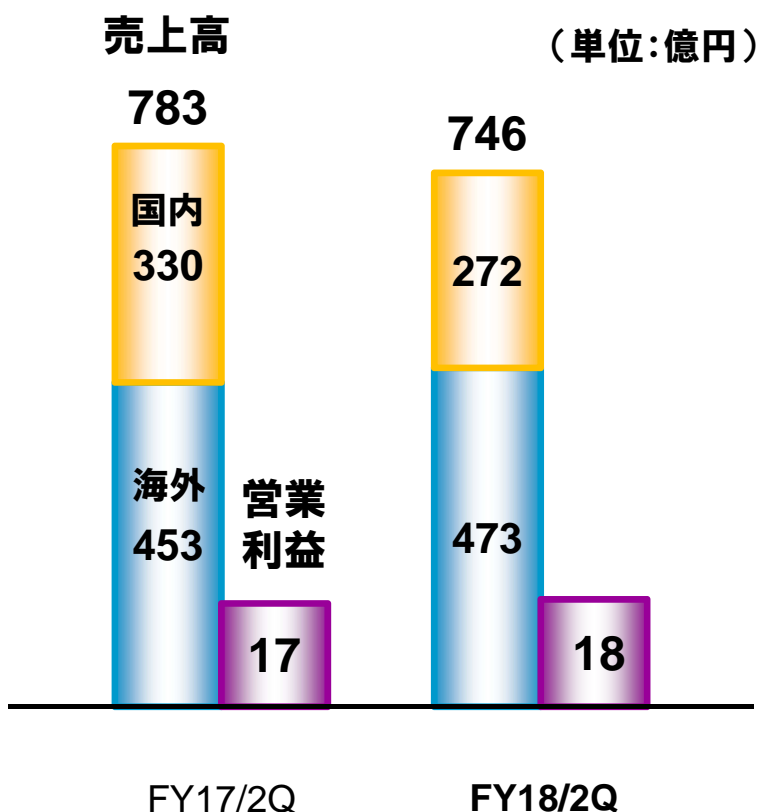
(単位:億円)



【上期】



2018年3月期 第2四半期：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 57% (前年同期 60%*)

前年同期比	95% (国内 82%、海外 104%(現地通貨ベース 95%))
増収要因	市販カーオーディオ、OEMカーオーディオ
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム 市販カーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

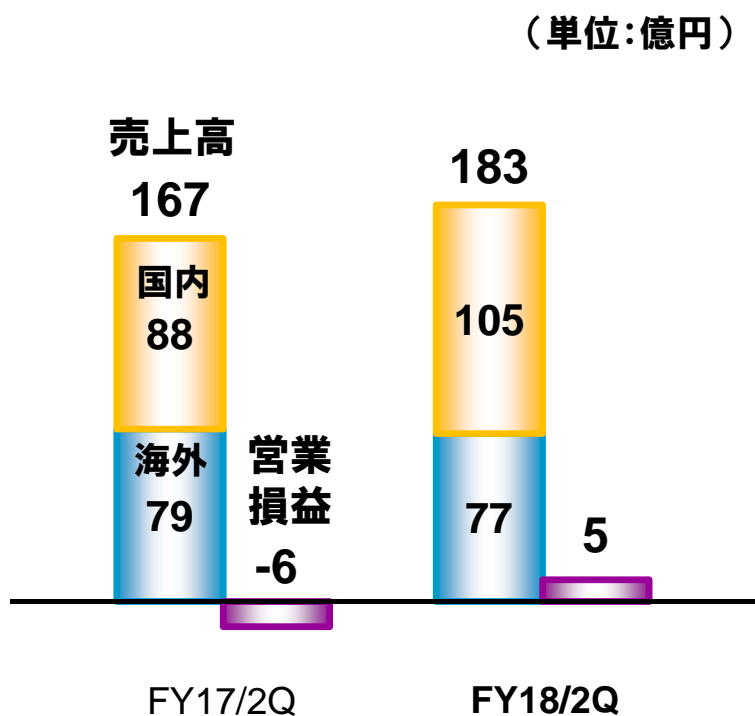
前年同期比	1億円の良化
良化要因	原価率の良化 販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	売上減による売上総利益の減少

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー、地図ソフト

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

* 従来「市販」に含まれていた海外のカーナビゲーションシステムの一部を、当期から「OEM」に変更しています。これに伴い、前年同期の数値についても組替表示しています。

2018年3月期 第2四半期：その他



< 売上高 >

前年同期比	109% (国内 120%、海外 97%(現地通貨ベース 93%))
増収要因	FA機器、光ディスクドライブ、 DJ機器(生産・販売受託)
減収要因	ホームAV、 CATV関連機器(事業譲渡)

< 営業損益 >

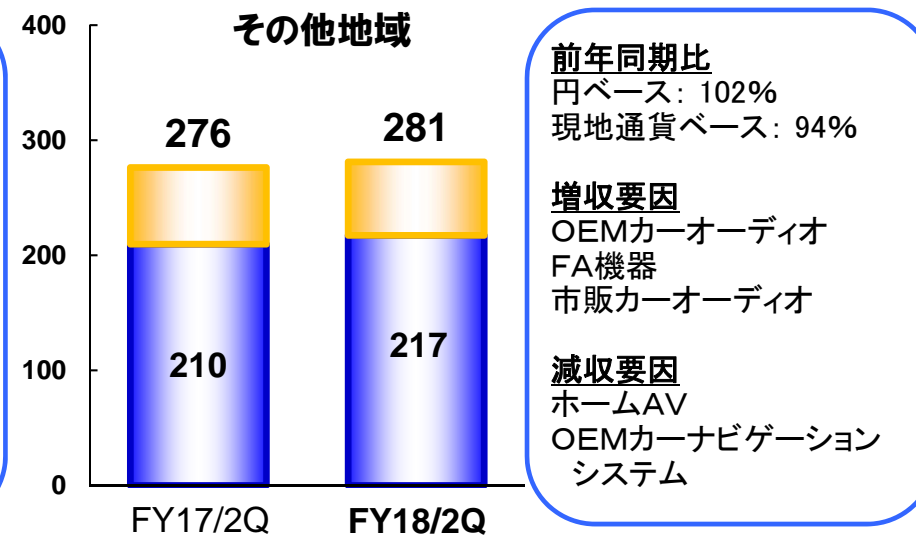
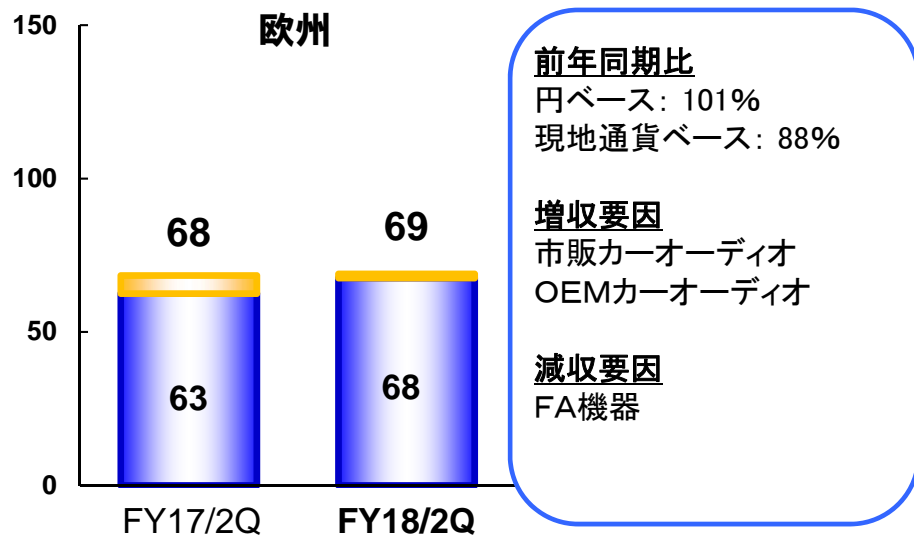
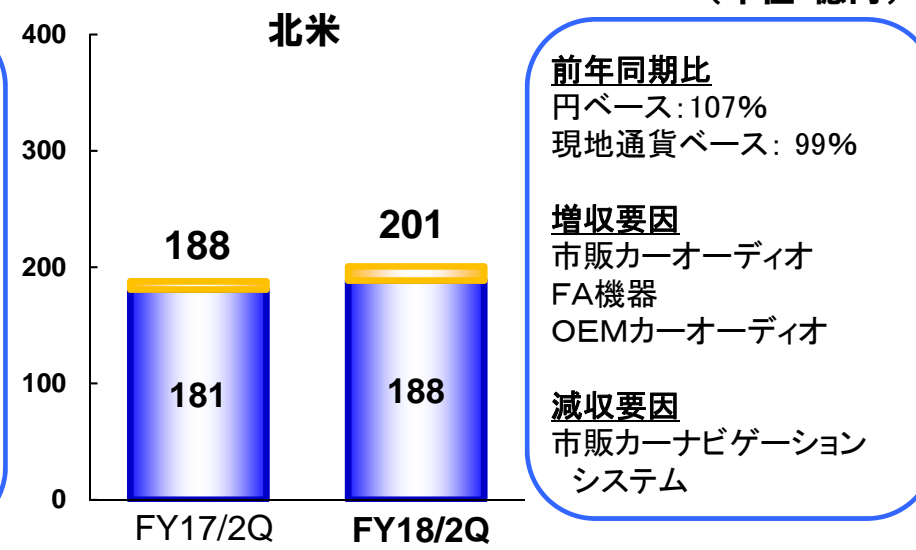
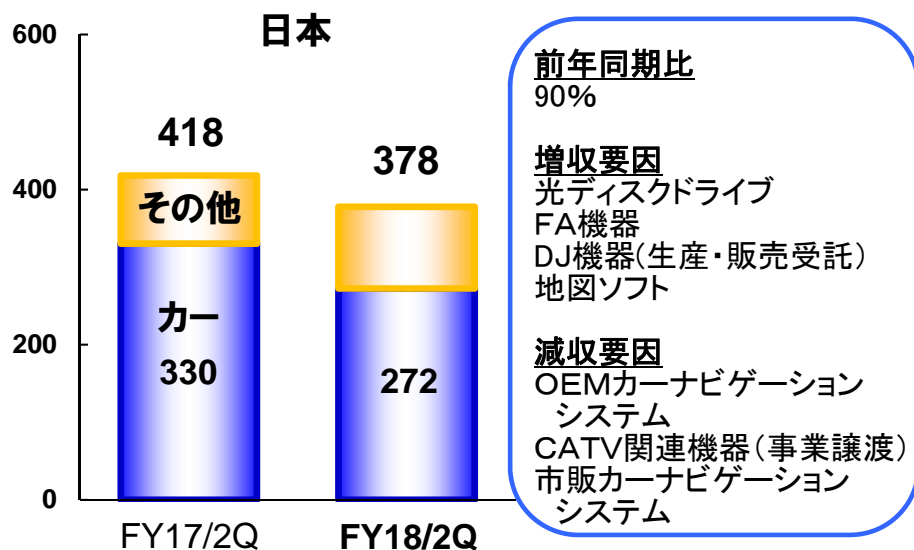
前年同期比	11億円の良化
良化要因	原価率の良化 為替影響 売上増による売上総利益の増加 販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	特になし

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
光ディスクドライブ関連製品、FA機器、電子部品、
有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2018年3月期 第2四半期：地域別売上高

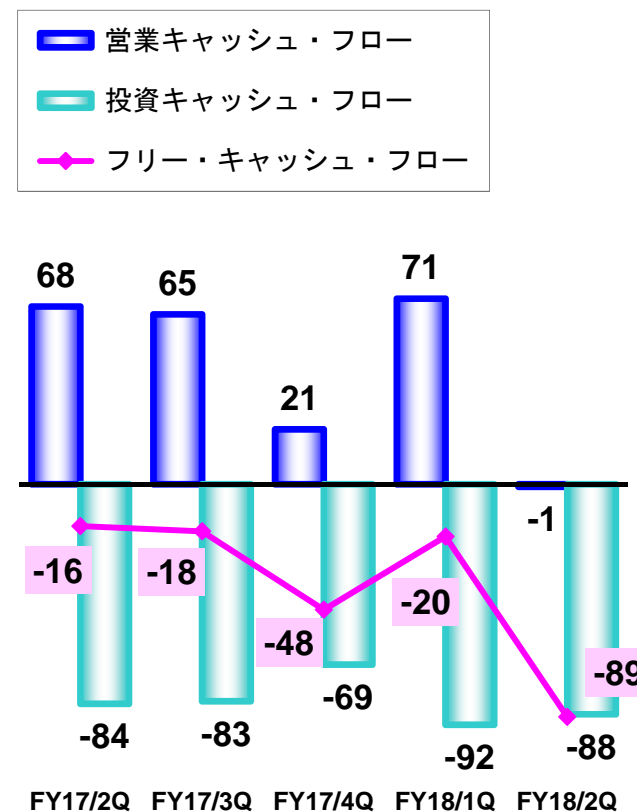
(単位:億円)



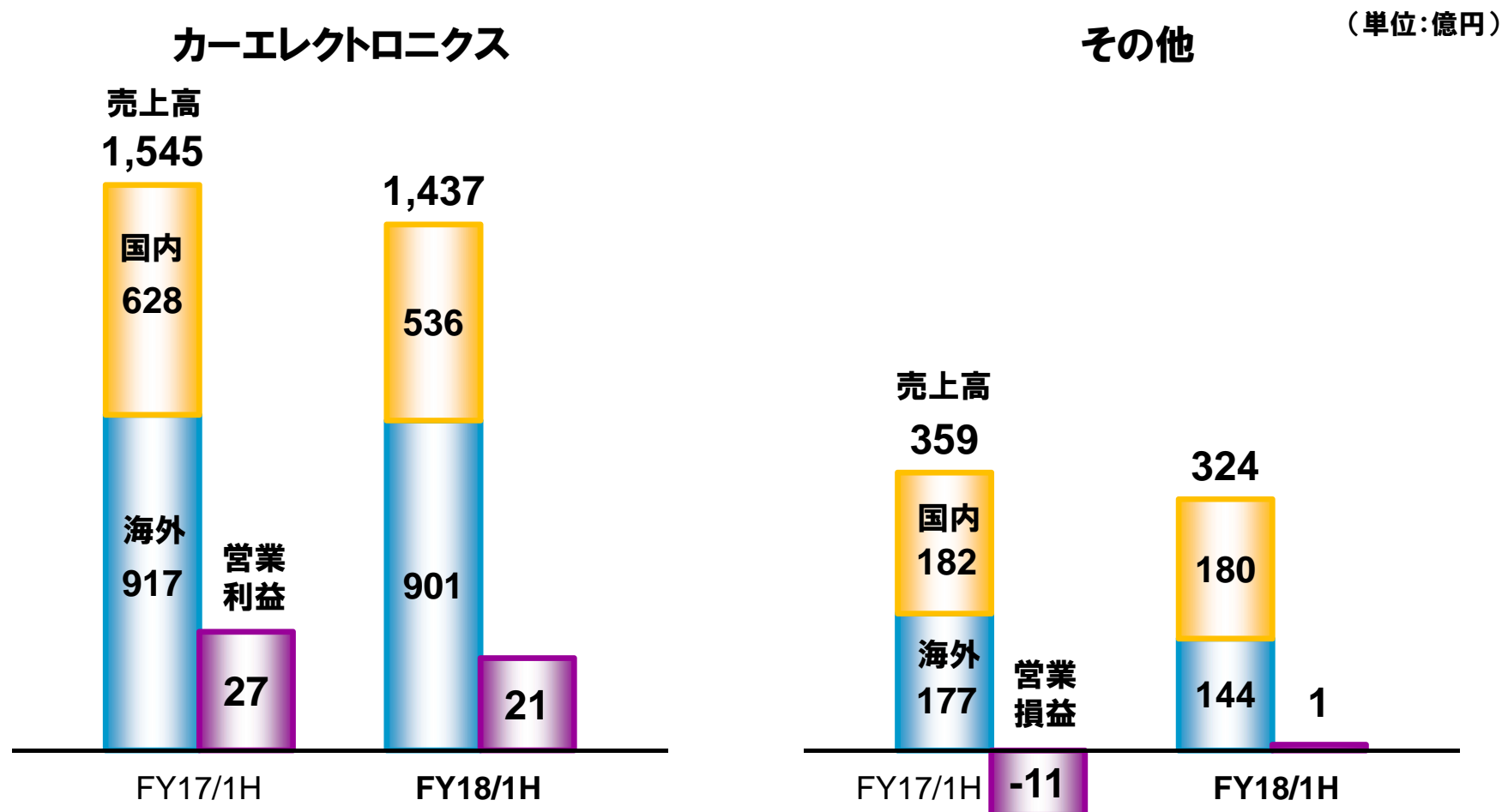
2018年3月期 第2四半期・上期：連結キャッシュ・フロー計算書

	第2四半期		上期	
	前年同期	当四半期	前年同期	当期
税金等調整前当期純利益	1	0	20	-15
減価償却費	62	51	126	96
売上債権の増減	-24	-83	63	32
棚卸資産の増減	-18	-9	-42	-42
仕入債務の増減	51	26	1	7
未払費用の増減	21	30	-4	-1
その他	-26	-16	-54	-7
営業キャッシュ・フロー	68	-1	110	70
投資キャッシュ・フロー	-84	-88	-188	-180
財務キャッシュ・フロー	53	39	33	54
現金・現金同等物の換算差額	-5	5	-33	8
フリー・キャッシュ・フロー	-16	-89	-78	-110
現金・現金同等物の増減	32	-45	-78	-48
現金・現金同等物の残高	442	336		
NETキャッシュ残高	41	-92		

(単位:億円)



2018年3月期 上期: セグメント別売上高・営業損益



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2. 2018年3月期 連結業績予想

2018年3月期：通期連結業績予想

売上および利益に関する予想は、
前回発表(8月7日)から変更ありません。

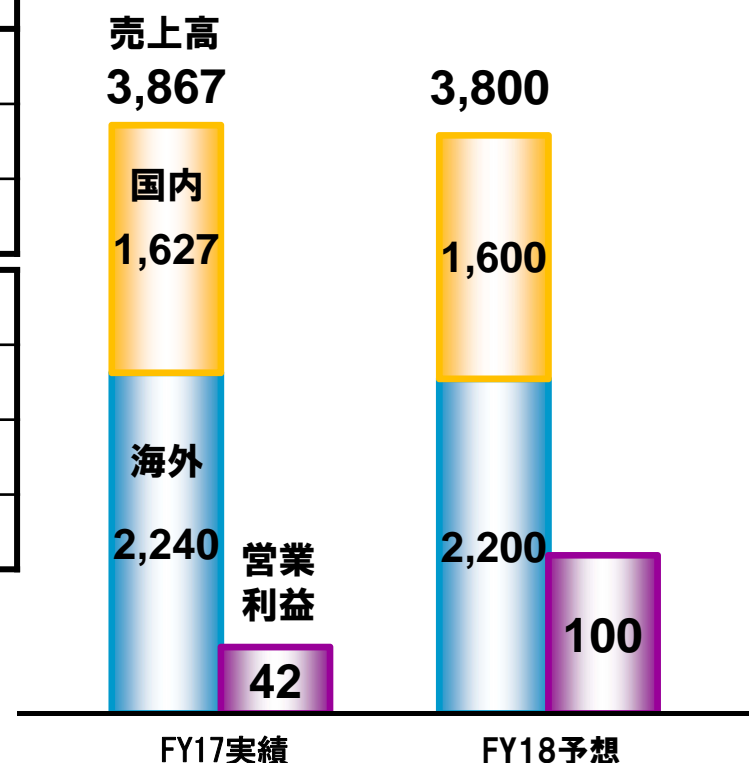
(単位:億円)

	前期実績	今回予想	前期比
売上高	3,867	3,800	98.3%
営業利益	42	100	240.0%
当期純損益*	-51	35	-
1株当たり純損益*	-13.76円	9.39円	+23.15円
ROE	-6.0%	4.0%	+10.0%
1株当たり純資産	224.72円	241.87円	+17.15円
ROA	-1.7%	1.2%	+2.9%

* 親会社株主に帰属する当期純損益

為替 前提レート	1米ドル	108.38円	110.53円
	1ユーロ	118.79円	127.14円

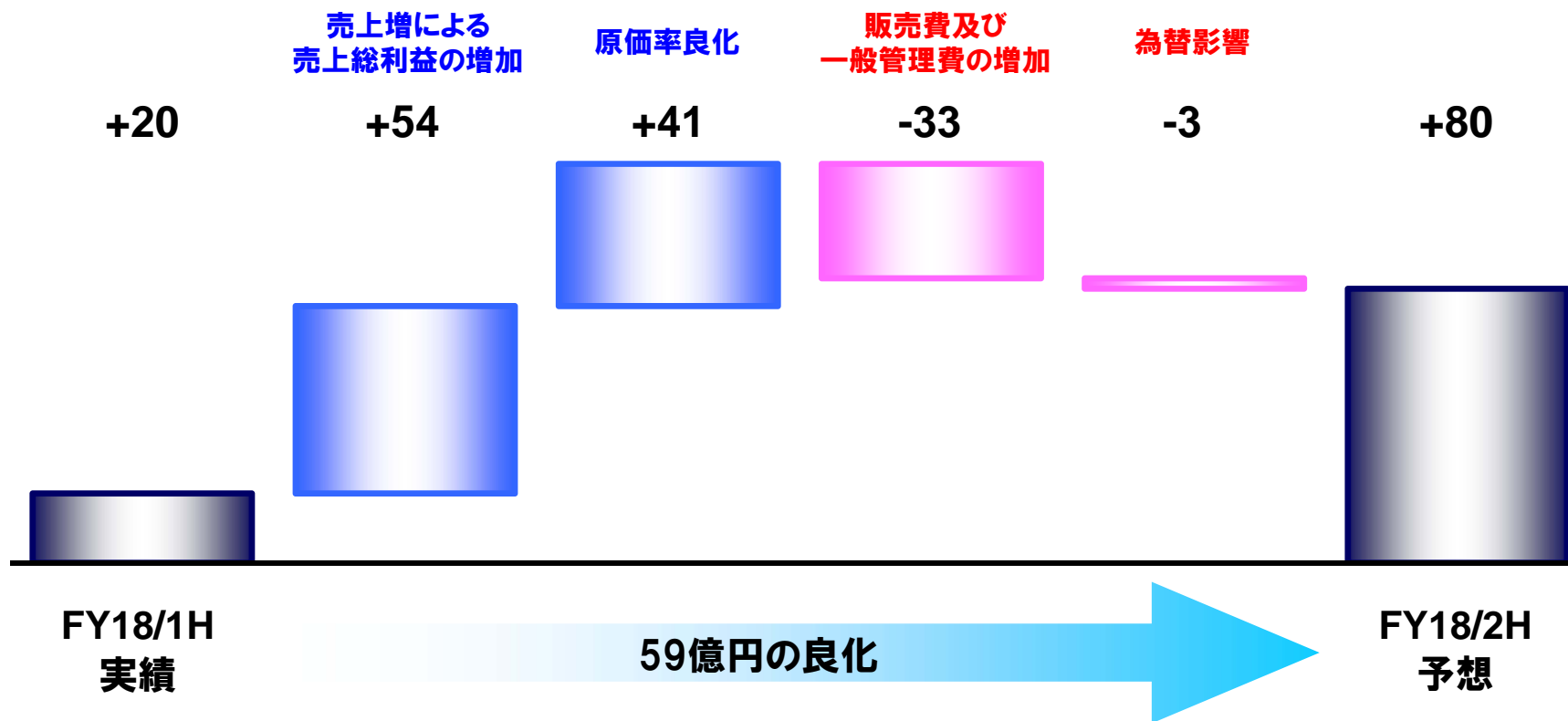
(単位:億円)



- 注) 1. 残り6ヵ月間の予想レートは、1米ドルは110円、1ユーロは128円を前提にしています。
 2. 1円の円高インパクト(残り6ヵ月間)は、売上高では、USドルは▲約9.4億円、ユーロは▲約1.1億円、
 営業利益では、米ドルは+約0.3億円、ユーロは▲約0.7億円。
 3. 今回予想は、10月5日に実施した新株発行を加味して算出しています。

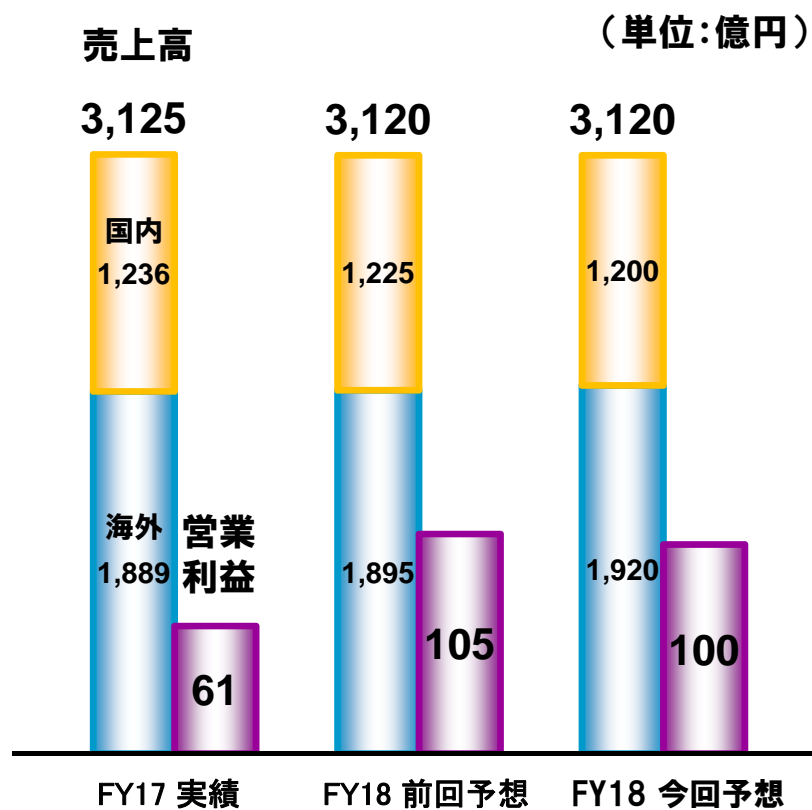
2018年3月期予想：下期 営業利益（上期との比較）

（単位：億円）



- 新製品の導入効果などカー市販の売上増により、売上総利益は増加
- 売上増により、原価率は良化
- 販売費及び一般管理費は、売上増により、販売変動費や政策費が増加

2018年3月期予想：カーエレクトロニクス



注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

* 従来「市販」に含まれていた海外のカーナビゲーションシステムの一部を、当期から「OEM」に変更しています。これに伴い、前期の数値についても組替表示しています。

< 売上高 > OEM比率 56% (前期 60% *)

前期比	100% (国内 97%、海外 102% (現地通貨ベース 99%))
増収要因	市販カーオーディオ
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム
対前回予想	変更なし

< 営業利益 >

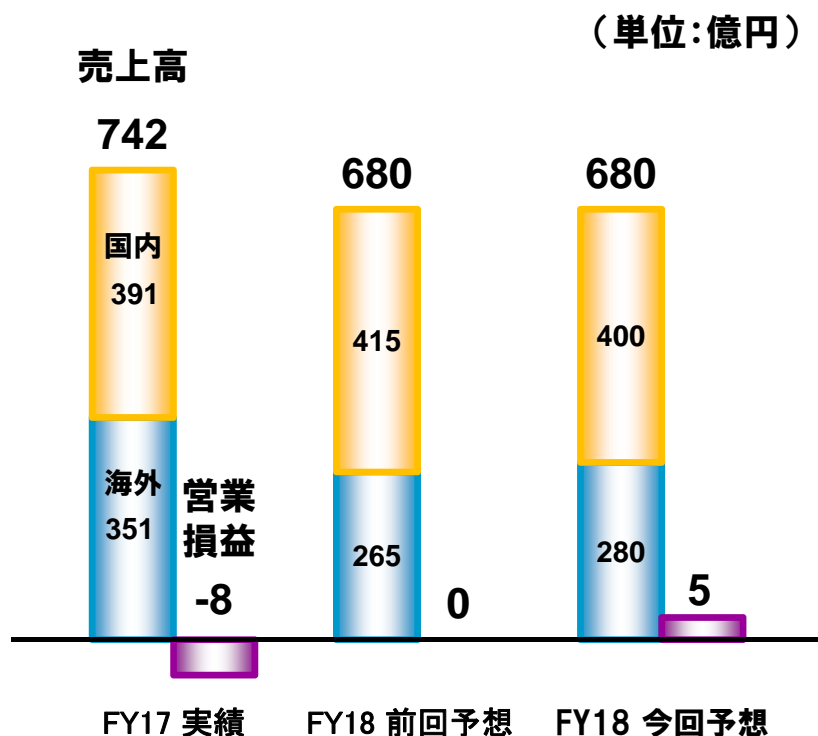
前期比	39億円の良化
良化要因	原価率の良化
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 為替影響 販売費及び一般管理費の増加
対前回予想	5億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	原価率の悪化、為替影響

< 出荷台数 >

(単位:千台)

	FY17実績	FY18前回予想	FY18今回予想
市販カーナビ	568 *	580	580
市販カーCD	5,834	6,200	6,000
市販カーAV	1,367	1,650	1,700

2018年3月期予想：その他



< 売上高 >

前期比	92% (国内 102%、海外 80%(現地通貨ベース 78%))
増収要因	DJ機器(生産・販売受託)、FA機器
減収要因	ホームAV、CATV関連機器(事業譲渡)
対前回予想	変更なし

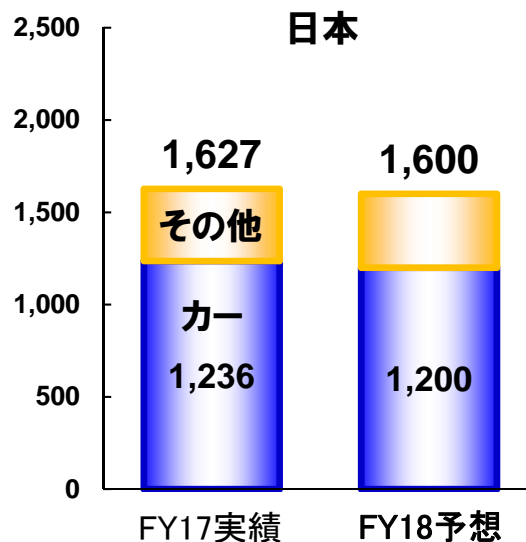
< 営業損益 >

前期比	13億円の良化
良化要因	原価率の良化 販売費及び一般管理費の減少 為替影響
悪化要因	売上減による売上総利益の減少
対前回予想	5億円の良化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少
悪化要因	特になし

注) セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2018年3月期予想：地域別売上高

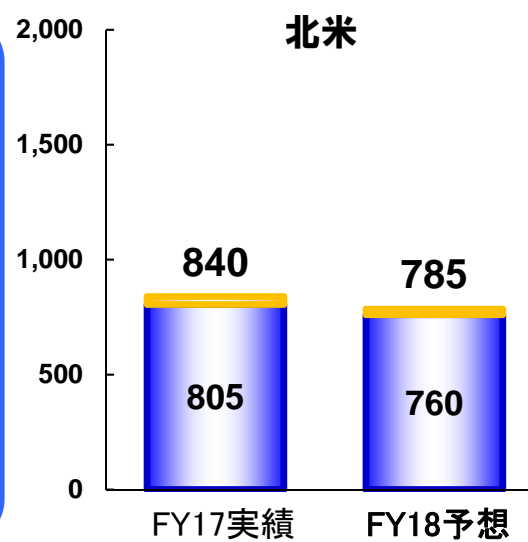
(単位:億円)



前期比
98%

増収要因
市販カーナビゲーションシステム
OEMカーオーディオ
地図ソフト
FA機器
DJ機器

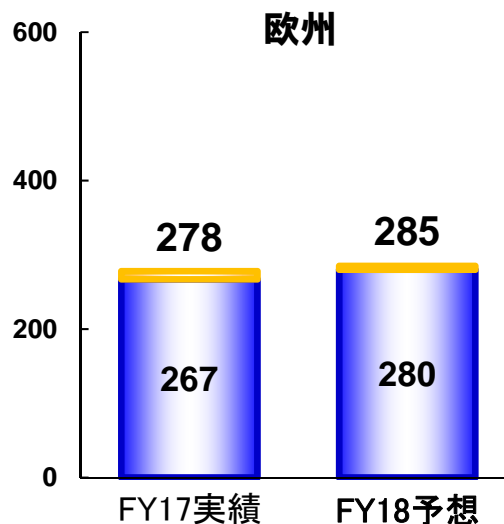
減収要因
OEMカーナビゲーションシステム
CATV関連機器(事業譲渡)



前期比
円ベース: 93%
現地通貨ベース: 92%

増収要因
市販カーオーディオ

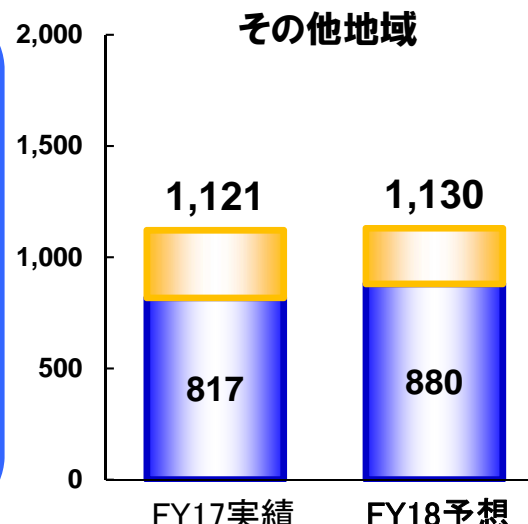
減収要因
OEMカーオーディオ
OEMカーナビゲーションシステム



前期比
円ベース: 103%
現地通貨ベース: 96%

増収要因
市販カーオーディオ

減収要因
特になし



前期比
円ベース: 101%
現地通貨ベース: 98%

増収要因
市販カーオーディオ

減収要因
ホームAV

2018年3月期予想：財務指標

(単位:億円)

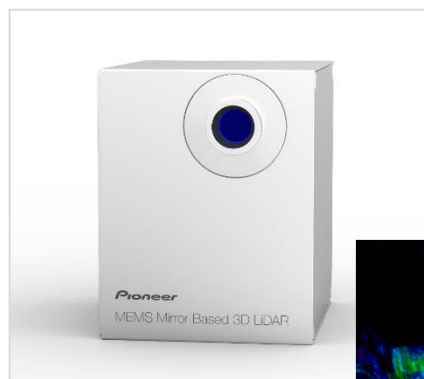
	FY17実績	FY18前回予想	FY18今回予想
研究開発費 (売上高比率)	239 (6.2%)	250 (6.6%)	250 (6.6%)
設備投資	352	350	380
減価償却費	249	215	215
棚卸資産	498	520	520
営業キャッシュ・フロー	196	230	230
投資キャッシュ・フロー	-340	-360	-405
財務キャッシュ・フロー	14	-5	65
フリー・キャッシュ・フロー	-144	-130	-175
純資産	868	920	960
自己資本比率	29%	30%	31%
D/E比率	0.5倍	0.4倍	0.5倍
NETキャッシュ残高	-8	-130	-150

注) D/E比率=有利子負債÷(純資産-非支配株主持分)

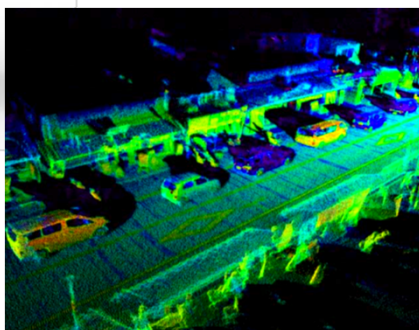
3. トピックス

MEMSミラーを用いた3D-LiDARサンプル供給を開始

- **提供時期:** 2017年9月下旬～
- **提供先:** 国内外の自動車メーカーやICT関連企業等
- **特徴:** 開口部の小さいMEMSミラーとレンズを組み合わせ、光学設計を最適化し、車載用途での実用化を可能に



今回のサンプル
(スキャン部)



3D-LiDARで収集した
点群地図データイメージ

東京モーターショー2017に出品



MEMS:微小電気機械システム

HERE Technologiesとの業務・資本提携



グローバルなテレマティクス保険向け
ADASソリューション開発提携



Pioneer

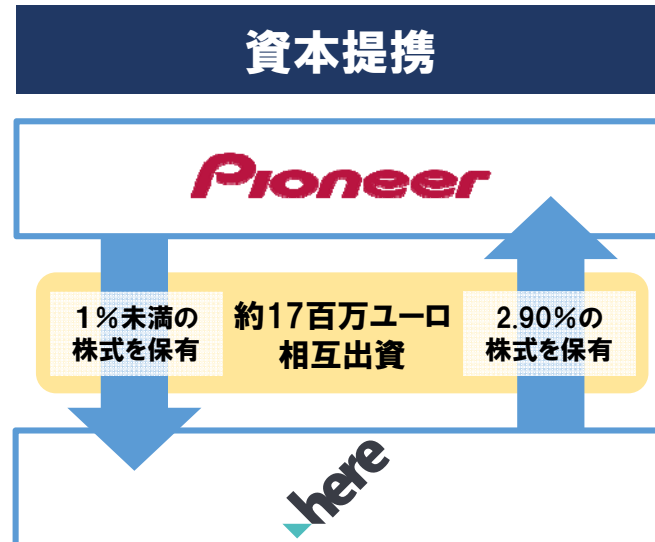
IoTデバイス
事故リスク予測サービス



here

標準地図
クラウドサービス
履歴データ

2017年
9月



Pioneer